

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第1グループ(宮崎・有馬・野川)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 宮崎こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,553人	②年間延べ利用団体数	1,034団体
	2 宮崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	457人	②年間延べ利用者数	24,242人
	3 宮崎台小学校わくわくプラザ ①登録者数	362人	②年間延べ利用者数	15,684人
	1 有馬こども文化センター ①年間延べ利用者数	24,717人	②年間延べ利用団体数	506団体
	2 西有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	360人	②年間延べ利用者数	15,475人
	3 有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	190人	②年間延べ利用者数	9,984人
	4 鷺沼小学校わくわくプラザ ①登録者数	325人	②年間延べ利用者数	15,086人
	1 野川こども文化センター ①年間延べ利用者数	46,220人	②年間延べ利用団体数	565団体
	2 西野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	204人	②年間延べ利用者数	7,890人
	3 野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	240人	②年間延べ利用者数	11,838人
	4 南野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	225人	②年間延べ利用者数	10,494人
	収支実績	単位:円		
	1 収入			
	指定管理料	175,526,770		
	2 支出			
	人件費	152,078,330		
	事業費	9,264,337		
	事務経費	15,435,714		
	その他経費	226,413		
	合計	177,004,794		
	3 差引	-1,478,024		
サービス向上の取組	利用者の意見・要望を取り入れ、市・区・グループ・各施設ごとに工夫した事業・行事を展開し、安定したサービスを提供している。			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 財団が運営する市内全施設を対象に遊びを普及させる目的のマンカラ大会・こどもサミット、宮前区内6施設合同の朗読観劇賞会やドッジビー大会、3施設合同事業(ロコモクッキングと水あそび)、各施設独自で地域性のある事業(さんままつり、ながしそうめん・なつまつり・ちよこつ縁日・ふゆまつり等)を実施する等、幅広く交流を行っている。職員の持っている経験やノウハウを活かし、子どもの意見を尊重し、地域団体や学校などと連携しながら、こども文化センター及びわくわくプラザの事業運営を着実にやっている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理を適切に行っている。受託20グループ(53施設)の一元管理による臨時職員賃金の削減効果、本部での一括契約による経費節減、剰余金が見込まれる場合は、児童用図書や備品購入、施設の整備・改善で還元するなど効率的・効果的な事業執行をしていると認められる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	3	6
利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6	
(評価の理由) 毎月のためよりパンフレット・チラシ・ホームページを作成し、関係機関に周知するなど利用促進活動を着実にやっている。特別な支援を必要とする児童については、本部障害相談員の巡回、特別支援級教諭との連携、職員研修など適切に対応している。意見箱の設置、こども文化センター運営協議会・子ども運営会議・保護者懇談会の定期的開催など、団体・地域・子どもの意見や要望を取り入れながら事業や行事を実施している。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) 仕様書どおり利用者増加や緊急時に柔軟な対応ができる人員を確保している。グループ研修は、3施設合同というメリットを活かし、単独ではできない研修を行うことで施設同士の交流、職員間の情報共有や共通認識を深め、スキルアップにつなげている。特にAED研修では、自施設の日程で受講できない職員は、他の2施設のどちらかで受講することとし、3施設の職員・臨時職員のほぼ全員(100人)が受講した。個人情報漏洩等の事実はない。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 施設の点検マニュアルに沿って日常的に施設内の点検や安全整備を実施し、適宜施設修繕を行っている。衛生管理については、マニュアルを整備し、チェックリストに基づく日常的点検、手洗いやうがいの指導、各部屋にアルコール手指消毒剤常備や空気清浄器導入、メラミンカップや歯の保存液購入などを行っている。また、職員及び臨時職員へのインフルエンザ予防接種費用を補助し、利用者への感染防止を推進している。各施設ごとに災害時対応マニュアルを作成し、わくわくプラザに防災遮光カーテン設置、こども文化センターに発電機設置、こども文化センター及びわくわくプラザに簡易トイレを用意するなど防災体制強化に取り組んでいる。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまでに蓄積したノウハウや53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かし、各種マニュアルの整備、均質・均等なサービス提供、経費節減効果、市・区・グループ単位を活用した事業や職員研修の実施に加えて、地域と連携した各施設独自の事業を展開していることは評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第2グループ(宮前平・平・白幡台)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	子ども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区子ども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 宮前平子ども文化センター ①年間延べ利用者数 30,317人 ②年間延べ利用団体数 749団体</p> <p>2 富士見台小学校わくわくプラザ ①登録者数 427人 ②年間延べ利用者数 17,988人</p> <p>3 宮前平小学校わくわくプラザ ①登録者数 249人 ②年間延べ利用者数 13,993人</p> <p>4 土橋小学校わくわくプラザ ①登録者数 433人 ②年間延べ利用者数 15,672人</p> <p>1 平子ども文化センター ①年間延べ利用者数 25,652人 ②年間延べ利用団体数 334団体</p> <p>2 向丘小学校わくわくプラザ ①登録者数 294人 ②年間延べ利用者数 18,545人</p> <p>1 白幡台子ども文化センター ①年間延べ利用者数 24,009人 ②年間延べ利用団体数 440団体</p> <p>2 白幡台小学校わくわくプラザ ①登録者数 179人 ②年間延べ利用者数 11,878人</p> <p>3 平小学校わくわくプラザ ①登録者数 219人 ②年間延べ利用者数 8,860人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 159,248,467</p> <p>2 支出 人件費 130,948,368 事業費 7,722,194 事務経費 15,418,590 その他経費 226,413 合計 154,315,565</p> <p>3 差引 4,932,902</p>
サービス向上の取組	利用者の意見・要望を取り入れ、市・区・グループ・各施設ごとに工夫した事業・行事を展開し、安定したサービスを提供している。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、子ども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		子ども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 財団が運営する市内全施設を対象に遊びを普及させる目的のマンカラ大会・子どもサミット、宮前区内6施設合同の朗読観劇賞会やドッジビー大会、3施設合同事業(ら・ら・ら合宿)、各施設独自で地域性のある事業(子どもまつり、子ども緑日、お楽しみ会、なつまつり、流しそうめん、いこいの家との合同まつり、もちつき大会等)を実施する等、幅広く交流を行っている。職員の持っている経験やノウハウを活かし、子どもの意見を尊重し、地域団体や学校などと連携しながら、子ども文化センター及びわくわくプラザの事業運営を着実にやっている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理を適切に行っている。受託20グループ(53施設)の一元管理による臨時職員賃金の削減効果、本部での一括契約による経費節減、剰余金が見込まれる場合は、児童用図書や備品購入、施設の整備・改善で還元するなど効率的・効果的な事業執行をしていると認められる。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
(評価の理由) 毎月のたより・パンフレット・チラシ・ホームページを作成し、関係機関に周知するなど利用促進活動を着実にやっている。特別な支援を必要とする児童については、本部障害相談員の巡回、特別支援級教諭との連携、職員研修など適切に対応している。意見箱の設置、こども文化センター運営協議会・子ども運営会議・保護者懇談会の定期的開催など、団体・地域・子どもの意見や要望を取り入れながら事業や行事を実施している。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) 仕様書どおり利用者増加や緊急時に柔軟な対応ができる人員を確保している。グループ研修は、3施設合同というメリットを活かし、単独ではできない研修を行うことで施設同士の交流、職員間の情報共有や共通認識を深め、スキルアップにつなげている。個人情報漏洩等の事実はない。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 施設の点検マニュアルに沿って日常的に施設内の点検や安全整備を実施し、適宜施設修繕を行っている。衛生管理については、マニュアルを整備し、チェックリストに基づく日常的点検、手洗いやうがいの指導、各部屋にアルコール手指消毒剤常備や空気清浄器導入、メラミンカップや歯の保存液購入などを行っている。また、職員及び臨時職員へのインフルエンザ予防接種費用を補助し、利用者への感染防止を推進している。各施設ごとに災害時対応マニュアルを作成し、わくわくプラザに防災遮光カーテン設置、こども文化センターに発電機設置、こども文化センター及びわくわくプラザに簡易トイレを用意するなど防災体制強化に取り組んでいる。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまでに蓄積したノウハウや53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かし、各種マニュアルの整備、均質・均等なサービス提供、経費節減効果、市・区・グループ単位を活用した事業や職員研修の実施に加えて、地域と連携した各施設独自の事業を展開していることは評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。